

首都圏を中心に「アズハイム」ブランドの介護付き有料老人ホームを運営するなど、シニア事業を展開するアズパートナーズ(東京都千代田区)は4月1日、横浜市泉区にデイサービスセンターを併設した「アズハイム横浜いずみ中央」をオープンする。「最期まで自分らしく自分の力で…」をコンセプトに、「介護はサービス業」の精神にのつとった質の高い介護サービスの提供を目指す。

経験を集成

「アズハイム横浜いずみ中央」は、相模鉄道いずみ野線「いずみ中央駅」から徒歩6分に位置し、10棟目の「アズハイム」としてオープンする。横浜市指定の介護専用型特定施設として、①医療依存度の高い入居者への対応②認知症対応③リハビリ



「アズハイム横浜いずみ中央」の完成予想図

首都圏を中心に「アズハイム」ブランドの介護付き有料老人ホームを運営するなど、シニア事業を展開するアズパートナーズ(東京都千代田区)は4月1日、横浜市泉区にデイサービスセンターを併設した「アズハイム横浜いずみ中央」をオープンする。「最期まで自分らしく自分の力で…」をコンセプトに、「介護はサービス業」の精神にのつとった質の高い介護サービスの提供を目指す。

質の高い介護サービスの提供

4月1日オープン「アズハイム横浜いずみ中央」

ビリ機能訓練」の3つの柱で運営に当たる。

浅見泰之・シニア事業部ゼネラルマネジャー兼入居相談室長はオープンに向け「平成16年11月の会社設立以来培ってきた経験を集成したい」と意気込

みを語る。これにより「アズハイム」は横浜市内に3棟となり、ネットワークを生かした地域密着型の運営も可能となる。

施設は地上3階建てで、79の居室(1居室の面積18・63平方メートル)に加え、1階部分に定員最大32人のデイサービスセンターを設けた。特長は、この規模の施設としては珍しいツーバイオーナー(2×4)工法の木造とした点だ。木造ならではのしつくいの外壁に加え、室内は柱を生かした空間も設け、施設全体を西洋風のティストに和をアレンジした「大正ロマン」のイメージとした。

競合が激しさを増す中、注力するのが人材育成で、「アズハイム横浜いずみ中央」では認知症対応の資格取得を全介護職員に促すなど、「人間力の向上」での充実度を高めた。

施設内には「花鳥風月」をテーマに、居室内装(クロス)を角により4色に分けるなど、入居者の原風景に結びつく潤いのある暮らしに配慮した。また、フロアごとに食堂や談話スペースを設け、入居者にとって移動負担の少ない、自分の家に居るような場とした。

入居前～
マンション

①入居前に実施する「BPRシップパーティー」で、ターゲットサービスの説明会を開催し、交流を深める懇親会を併せて行う。
②住民交流を促す「コミュニティカード」。ガイドブックの例なども詳しく載つ

住まいの
情報局

スを設け、入居者にとつて移動負担の少ない、自分の家に居るような場とした。

人材育成に注力

料金は、入居一時金90万円の範囲で5つのプランから選べ、入居一時金540万円の標準的なプランで、月額利用料は21万9000円。看護職員、介護職員は基準を上回る人居者2人に対しても1人を配置し、介護専用型特定施設としての充実度を高めた。

競合が激しさを増す中、注力するのが人材育成で、「アズハイム横浜いずみ中央」では認知症対応の資格取得を全介護職員に促すなど、「人間力の向上」での充実度を高めた。

施設内には「花鳥風月」をテーマに、居室内装(クロス)を角により4色に分けるなど、入居者の原風景に結びつく潤いのある暮らしに配慮した。また、フロアごとに食堂や談話スペースを設け、入居者にとって移動負担の少ない、自分の家に居るような場とした。

らいふ・とびっくす

Life Topics

▶初の自社開発大型SC 野村不動産は相模原市南区の小田急線相模大野駅前に、初めて自社開発した大型ショッピングセンター(SC)「bono(ボーノ)相模大野」=写真=をオープンした。

店舗面積は約3万3000平方㍍で、大手食品スーパー「ライフ」やカジュアル衣料専門店「ZARA(ザラ)」のほか、

「bono」をはじめとした関東地区初出店の3店など、約180店が出店した。

野村不動産は新たな収益事業分野として商業施設の開発・運営に本格的に乗り出す方針で、大型SCについては今後、首都圏を中心とした大都市圏で年1カ所のペースで開設する計画だ。

bono相模大野では隣接する同社のマ

に衛生陶器用に特化、発展させた新技術「Actilight(アクティライト)」のほか、同社の防汚技術、洗浄